



2024年 十大ニュース **県内**

1	別府市のひき逃げ重要指名手配 1年	748
2	「全国豊かな海づくり大会」天皇、皇后両陛下も出席	731
3	194 <sup>+</sup> 事故で危険運転成立、懲役8年	709
4	パリ五輪、県関係選手が活躍	601
5	たのうららオープン	568
6	宮崎県南部地震、県内は最大震度4 南海トラフ地震臨時情報も	563
7	台風10号で各地に被害	482
8	ホーバー周遊運航始まる	428
9	別府で将棋の名人戦、豊島九段が白星 藤井八冠の初防衛持ち越し	405
10	石破内閣が発足し、外相に岩屋毅氏	400

別府市で2022年6月、男子大学生2人が死傷したひき逃げ事件は、公開手配中に男を警察庁が重要指名手配容疑者に指定してから1年がたった。読者から

あなたが選ぶ **県内**  
**十大ニュース**

# 別府ひき逃げ 解決切望

大分合同新聞社が募集した2024年の「あなたが選ぶ県内十大ニュース」が決まり、「別府市のひき逃げ重要指名手配1年」が1位となった。発生から2年以上が経過した未解決事件に高い関心が集まった。(5面に特集)

早期解決を望む声が寄せられ、11月に大分、別府の両市で開催された「第43回全国豊かな海づくり大会」。天皇、皇后両陛下が



（左上から時計回りに）ひき逃げ事件発生から2年に合わせて容疑者の似顔絵を載せたチラシを配る警察官。別府市、「第43回全国豊かな海づくり大会」でお言葉を述べられる天皇陛下、時速194<sup>+</sup>死亡事故の裁判員裁判で初公判後に会見した遺族。パリ五輪で獲得したメダルを見せるフェンシングの選手。以上、大分市

6年ぶり、即位後では初めて来県して注目された。大分市の時速194<sup>+</sup>死亡事故で、危険運転致死罪の成立を認めて懲役8年を言い渡した大分地裁の判決が3位だった。検察側と被告側は、いずれも福岡高裁に控訴し、判断は「審に委ねられることになった」。フェンシングなど大分県関係選手のメダル獲得が盛り上がったパリ五輪や、新たな名所として期待される道の駅「たのうらら」（大分市）のオープン、ホーバーラフトの周遊運航開始、別府市で将棋名人戦など明るい話題もランキングした。

「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が初めて出された宮崎県南部地震、県内を直撃し大きな被害をもたらした台風10号など、災害関係も入った。石破内閣の発足で岩屋毅氏（衆院大分3区）の外相就任が10位だった。投票は20歳未満が最も多く、50代、60代と続いた。応募総数（有効票）は195票だった。（菅嶋悠）

## 災害備えの大切さ実感 犯罪への警戒感高まる

### 県民の感想

順位予想とともに「1年の感想」も募集した。40人以上が災害に触れた。佐伯市の無職男性(70)は「能登半島地震で年が明け、県内でも台風と地震が、日頃の備えが大切と実感。豊後大野市のパート女性(39)は「南海トラフ地震臨時情報に慌てた」など地震を挙げた人が目立った。宇佐市の自営業男性(49)は「夏が

長く暑かった」、竹田市の無職女性(67)は「猛暑が半端なく、野菜がでかくかつた」と酷暑へ恨み節も。大分市パート男性(71)は「毎月のように値上げラッシュ」と指摘し、同市男性会社員(49)は「一年中、お金のことを考えていた。来年はもっと給料が上がりますように」と切実だ。「全国的に闇バイトによる犯罪が発生」〓由布市の公務員男性(41)や、宇佐市の無職男性(76)は「すれ違っただけで人を疑ってしまう」と犯罪を警戒する。大分市の会社員男性(60)は「今年も『大分市194<sup>+</sup>での危険運転成立』、別府市ひき逃げ重要指名手配から1年」が全国的に注目された」とし、別府市の女子学生(15)は「ひき逃げ犯が早く捕まってほしい」と望んだ。県関係選手がパリ五輪で健闘した。中津市の会社員男性(51)は「スポーツで盛り上げてくれた」と喜び、豊後高田市の公務員男性(52)は「来年は少しでも明るいニュースを」と期待を寄せた。



〔問①〕 2024年の大分県内十大ニュースで1位になったのは、「別府市のひき逃げ事件」です。何ポイント入りましたか。

〔問②〕 掲載されているトップ10のうち、あなたはどれが1位だと考えますか、その理由は？

〔問③〕 2024年であなた自身の1位の大きなニュースは何でしたか？ 思い出してみよう。